

第1回休眠預金等活用審議会終了後記者会見録

1. 日時：平成29年5月22日（月）18:05～18:15
2. 場所：合同庁舎8号館1階S101会議室

○司会 お待たせいたしました。本日の「第1回休眠預金等活用審議会」記者会見を始めさせていただきます。

まず小宮山会長より、会議の概要について、御報告いたしまして、続いて、意見交換、細かいやりとりにつきましては、この会見終了後に、事務局から紹介させていただきます。

それでは、小宮山会長、よろしくお願いいたします。

○小宮山会長 こんにちは。

ただいま第1回の休眠預金等活用審議会が終わりまして、簡単に御報告させていただきます。

会議では、冒頭に、菅官房長官と加藤担当大臣から御挨拶いただきました。

長官からは、民の力を引き出すことが非常に重要だという点と、社会の諸課題の解決に向けて、民間の知恵やノウハウが最大限発揮できるような仕組みを構築していただけるように、期待しているという御発言をいただきました。

また、加藤大臣からは、休眠預金は、国民の貴重な預金を原資とするものであって、その制度設計やあらゆるプロセスを透明にすること、透明性の確保ということと、休眠預金の活用の成果を明らかにして、アカウントビリティーをきちんとすることが、国民の理解と信頼を得るという観点から重要であるといった、透明性と成果の点からお話をいただきました。

会議では、委員の互選によりまして、私が会長に選出されまして、私から、会長代理として、程委員を指名しました。

次に審議会の運営規則及び参加規程を策定して、審議の透明性を確保するため、会議内容については、動画を撮って配信することのほか、各委員の所属団体に関しまして、役職名等を申告すること、また、審議事項に利害関係を有する委員をその議決から外すといった、これもアカウントビリティー、利益相反といったことに対する措置を決めました。

また、来年春を目途とした基本方針の策定に向けまして、夏にヒアリングを各方面から実施しようということを含めたスケジュール感の認識を、委員の間で共有いたしました。

その後、約1時間、一番長く時間を使ったのは、総員で、専門委員と委員を含めて20名近くになるのですが、各自3分ということで、フリーディスカッションをいただきました。私が考える重要な論点は、出していただいたと思います。

詳細は、この後、事務局から御説明いただいたらよろしいかと思いますが、印象に残っていることを数点申し上げますと、1つは、人の育成とか、人的な支援といった、人ということが、多くの委員から出たということが印象的でした。

もう一つは、試みが全部成功するということではない。やはりリスクをとって、ある種の自由度を確保してやっていこうということとして、これは休眠預金というものを使う性質を考慮して、皆さんおっしゃっていたと感じます。

それと関連するのですが、イノベーションという言葉は何人もの委員が使われました。制度とか、やり方とか、そういったソフトなイノベーションを当然意味しているのだろうと思いますが、私が大事だと思っていたところが、何人もの委員から出てきたので、驚きを持って、非常に心強く感じました。

それから、法の趣旨として、今までの足りないところ、国の予算で足りないところを補うのではないということです。それでは、どこなのかというと、縦割りの結果、できないところ、あるいは縦割りの結果、あいてしまっているところなど、現場からしか上がってこないような、国の平均値として出てくるのではなくて、現場から具体的に上がってくるといった、そういったところをよく見て、700億円という金額の大きさ、毎年、義務的経費が1兆円規模でふえるということから見ると、小さいのですけれども、逆に非常に予算が硬直化している中で、新しく使えるという意味では、非常に大きな額ですので、そういうことを考えて、今までできていないところをやっていこうということ、皆さんが考えたのだろうと思いました。

それから、成果を出さなければいけないということと、それが見えるようにしなければいけないということなのですが、リスクをとること等も含めて考えますと、常に評価あるいは見える化を図って行って、スタートしてもうまくいかないものは、途中でとめるし、逆に続けるべきものは、長く続けられるようにするといった制度、今までとは少し異なったやり方が必要なのだろうといったことがございました。一番最後の点は、私が感じたことであります。

以上が各委員からの御意見です。今、終わったばかりなのですが、私の印象で目立ったところを御報告いたしました。

次回からも、引き続き、意見交換を行った上で、今後、議論すべき論点を詰めて、いい制度設計につなげていきたいと思えます。透明性の確保が大事ですので、メディアの方々も御関心を持っていただいて、報道していただければと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私からは以上です。

○司会 そういたしましたら、細かいやりとりは、事務方から御説明させていただきますけれども、会長に御質問のある方は、挙手をお願いしたいと思います。

その場合には、必ず社名とお名前を名乗っていただくよう、お願いいたします。

特段ございませんか。

○小宮山会長 それでは、よろしく申し上げます。

○司会 それでは、会長からの会見は、これで終わりにさせていただきます。ありがとうございました。